

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.11 山口県支部

● あゆみ

初代会長・山根功氏の尽力により、昭和43年(1968年)に「山口県小鳩会」として発足しました。120名程度の会員がおり、会報の発行から始まって活動は多岐にわたり、ダウン症児・者の親の会として活動していました。

しかしながら、私たちが役員になった30年前から予想していたことですが、会員の高齢化の波を止めることはできません。山口県の人口流出、市町村合併による変化により、退会する会員が急速に増え、現在に至っています。

現状では、支部を維持することさえ、なかなか難しくなってきました。若い世代のみなさんは、JDSの会費も家計に響く等の理由で、入会を断られる始末です。山口

県は他県と違い、広島市・岡山市・鳥取市のような大都市がまったくないため、連絡会議を行うにも1時間から2時間かけて集まらなければなりません。

これが山口県の実況です。

● 活動

平成29年度は中国ブロック大会の引き受け支部となっているため、どうしても山口大会を実施しなければなりません。そのため役員5名が集まり、準備のための会合をもっています。

大会に向けて、会員の中で国本敏江相談員が中心となり、ダウン症以外の障害のある人たちも含めてヒップホップダンスを練習中です。8月のブロック大会で披露できればと思っています。

● 支部長より

今は、中国ブロック大会が無事に終わることを願っています。

新会員が一人でも増えればと思い、いろいろと手を尽くしてはいるのですが、良い結果にはつながっていません。各市町に生まれたときから見てもらえる療育センターが開設されていること、個人情報の開示ができないことなどがネックとなり、新会員が増えないのだと思います。

このようなことしか書けないことが、残念としか言いようがありません。

- ◆ 支部長：矢田 英治
(FAX 0836-83-9310)
- ◆ 事務局：山根 新
(FAX 0835-22-7058)
- ◆ 支部会員：21 家族と特別会員 7名
- ◆ 設立：昭和43年(1968年)
- ◆ 対象地域：山口県全域
- ◆ ご本人の年齢：2歳～57歳
- ◆ 連絡先：ara@c-able.ne.jp



8月19日・20日の中国ブロック大会でもダンスパフォーマンスを披露する「スウィートポップコーン」のみなさん